

学籍番号

1. 採血について正しいものには○を、間違っているものには×を記入しなさい。

- ① 脈血帯は強く巻くほど良い。×
- ② 血管が怒張しない場合は冷罨法を行う。
- ③ 抜針は脈血帯をはずしてから行う。
- ④ 抜針後は採血部位をよくもむ。
- ⑤ 成人の静脈血の採血に適した注射針は 21G~23G である。

2. 検尿について正しいものには○を、間違っているものには×を記入しなさい。

- ① 検尿は生体検査である。
- ② 中間尿は、尿中の細菌を特定するための採尿法である。
- ③ 24 時間尿は、24 時間に排尿された尿をすべて貯め(蓄尿)その一部を検査する。
- ④ 早朝尿は、早朝起床時に採尿するため、飲食や運動の影響を受けにくい。
- ⑤ 7 時から翌朝 7 時までの 24 時間尿を採取する場合、7 時に排尿した尿から蓄尿を始める。

3. 与薬について正しいものには○を、間違っているものには×を記入しなさい。

- ① 筋肉内注射は大殿筋に行う。
- ② 点眼薬は下眼瞼結膜の中央に滴下する。
- ③ バッカル錠は、かんでから飲み込むよう促す。
- ④ 口腔内に溜まった吸入薬は飲み込むよう促す。
- ⑤ カルシウム拮抗薬の服用時に避けた方がよい食品はグレープフルーツである。

4. 次の文章の()にあてはまる適切な語句を下記の語群より選び、正しく丁寧に記入しなさい。

(語群は何度でも使用可)

- (1) X 線検査では、放射線(X 線)が透過しやすいものは(①)く写り、透過しにくいものは(②)く写る。そのため、空気を含む肺野は、(③)く写り、心臓や太い血管、骨は(④)く写る。
- (2) CT 検査は MRI 検査と比較し、一般的に検査時間が(⑤)ため、緊急時には CT 検査が用いられることが多い。突然の片麻痺、構音障害、意識障害などがあり、頭部 CT で脳内に高吸収域(白い部分)として描出される異常部位があれば(⑥)を疑う。同様の症状があり、頭部 CT で高吸収域がなければ(⑦)の可能性を疑う。
- (3) MRI 検査は(⑧)を使用するため、放射線を被曝する心配がない安全な検査である。(⑧)に影響を与える可能性があることからネックレスなどのアクセサリーを外す必要がある。狭い空間に閉じ込められるため、検査前に(⑨)恐怖症の有無を確認する場合がある。
- (4) 注射針を皮膚に対して 45~90 度の角度で刺入する注射法は(⑩)である。

語群

黒、白、灰、長い、短い、脳梗塞、脳出血、心筋梗塞、狭心症、
放射線、磁気、造影剤、高所、閉所、広場、
皮下注射、静脈内注射、筋肉内注射

5. 造影 CT の際に最も注意が必要なのはどれか。

- ①閉所に対する恐怖がある患者
- ②気管支喘息の既往がある患者
- ③ペースメーカーを装着している患者
- ④既往に上部消化管造影検査後の腹痛がある患者

6. 成人の後腸骨稜からの骨髓穿刺で正しいのはどれか。

- ①仰臥位で行う。
- ②穿刺時は深呼吸を促す。
- ③骨髓液吸引時に痛みが生じる。
- ④終了後、当日の入浴は可能である。

7. 上部消化管内視鏡検査で適切なのはどれか。

- ①検査前日の就寝前に緩下薬を内服する。
- ②検査の 12 時間前から禁食とする。
- ③検査時の体位は右側臥位とする。
- ④終了直後から飲食は可能である。

$$\begin{array}{r} 500 \\ 210 \overline{) 500} \\ \underline{420} \\ 80 \end{array}$$

$$(500 \div 210) \div 3$$

8. 毒薬の保管方法を規定している法律はどれか。

- ①薬剤師法
- ②毒物及び劇物取締法
- ③麻薬及び向精神薬取締法
- ④医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律〈医薬品医療機器等法〉

9. 52 歳の女性が上腹部痛と吐血を主訴に受診し輸血を行うこととなった。輸血時の対応で正しいのはどれか。

- ①赤血球製剤を 30~37℃で融解する。
- ②血液型検査とクロスマッチ検査用の採血を同時に行う。
- ③クロスマッチ検査の結果を医師と看護師で確認する。
- ④輸血開始から 15 分後にアレルギー反応の初回観察を行う。

$$\begin{array}{r} 500 \\ 210 \overline{) 500} \\ \underline{420} \\ 80 \end{array}$$

$$210 \times 2 = 420$$

$$500 - 420 = 80$$

$$80 \div 210 = 0.38$$

10. 20 滴で 1mL の輸液セットを用いて 500mL の輸液を 3 時間 30 分かけて実施する場合の 1 分間の滴下数を求めよ。ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第 1 位を四捨五入すること。

11. 筋肉内注射に適した部位であるクラークの点、ホッホシュテッターの部位、四分三分法、三角筋の部位のうち、どれか一つを選び、その刺入部位を解剖用語を用いて正しく説明しなさい。

$$\begin{array}{r} 210 \overline{) 500} \\ \underline{420} \\ 80 \end{array}$$

$$210 \times 2 = 420$$

$$500 - 420 = 80$$

$$80 \div 210 = 0.38$$

$$0.38 \times 20 = 7.6$$

$$7.6 \approx 8$$

学籍番号 (24)

1	①	②	③	④	⑤
9.56	X	0	0	X	X
2	①	②	③	④	⑤
6	X	X	X	0	0
3	①	②	③	④	⑤
12	X	0	0	X	0
4	(1)①	②	③		
27	黒く	白く	黒く		
	④	(2)⑤	⑥		
	白く	短い	脳梗塞		
	⑦	(3)⑧	⑨		
9	脳出血	破れ	閉鎖?		
	(4)⑩				
	筋肉内注射				
5	6	7	8	9	
9	②	③	③	③	③
10	2.3				
11	筋肉内注射に適した部位、どれか一つ選ぶ。どれ? (クラークの点) 説明: 上前腸骨棘と上後腸骨棘を結ぶ線上、上前腸骨棘から 1/3 の部位 (中殿筋) に刺す。				

16

$$\begin{array}{r}
 19 \\
 \times 23 \\
 \hline
 317 \\
 380 \\
 \hline
 647
 \end{array}$$

$7+9+27+12+6+9$
 $12+15$
 27
 54×20